



PMHIPシステム

運用取扱説明書

Ver.1.00

株式会社プロデュースメディア

2020年8月

目次

■1.	システムの基本的な操作	1
1-1	システムとアプリを使用するために必要な環境.....	1
1-2	PC で使用するマウスの操作用語	2
1-3	システムのデータ入力や選択について	3
1-4	アプリで使用する操作用語	4
4-1	アプリのデータ入力や選択について	5
■2.	調査を行う前に	6
2-1	本書で使用する用語について	6
2-3	成果品を作成するまでの業務フロー	6
■3.	新規データ作成	7
3-1	新規データ作成	7
■4.	建物データ連動	9
4-1	システムからアプリにデータを送信	9
4-2	アプリでシステムデータの受信	10
■5.	現地調査	12
5-1	建物データの選択	12
5-2	建物全景の撮影	13
5-3	全景写真の確認	13
5-3	損傷状況の入力	14
5-3	現場の撮影.....	16
■6.	調査データ連動	17
6-1	アプリでシステム送信用のデータ作成	17
6-2	システムでアプリデータの受信	18
■7.	システムでの編集	19
7-1	取込データの確認・編集	19
■8.	出力.....	20
8-1	調査建物のプレビュー表示.....	20
8-2	Excel データ出力	20
■9.	サポート	21

この文書の情報は、予告なく変更する可能性があります。この文書のいかなる部分も、株式会社プロデュースメディアの文書による許諾を得ることなく、電子的、機械的などのいかなる方法およびいかなる目的によっても複製または送信することを禁じます。

Copyright © 2020 Produce Media Japan All Rights Reserved. All Rights Reserved.

■ 1. システムの基本的な操作

1-1 システムとアプリを使用するために必要な環境

PC版・PM_HIP システム

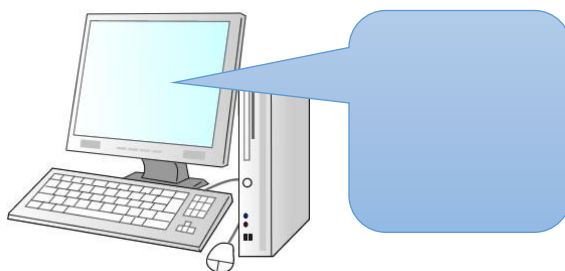
(以降「システム」と表記します。)

WindowsOS を搭載した PC 機器のことを指します。

(以降「PC」と表記します。)

【推奨する動作環境】

- CPU : IntelCorei3 以上
- メモリー : 2 G 以上
- HDD : システムで 1 GB 以上の空き容量※別途写真の保存領域が必要です。
- OS:Windows 7 , 8 , 8.1, 10



Android 版・PM_HIP アプリ

(以降「アプリ」と表記します。)

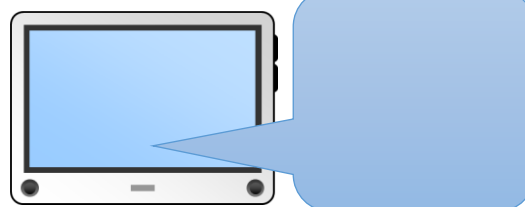
Android を搭載したスマホ・タブレット端末のことを指します。

(以降「タブレット」と表記します。)

ご使用の端末がスマートフォンの場合は、本書の「タブレット」の部分を「スマートフォン」に置き換えてご確認ください。)

【推奨する動作環境】

- OS : Android5.0.1 以上
- ※インターネットの接続は不要です。



1-2 PC で使用するマウスの操作用語

システムの操作はマウスとキーボードを使用して操作を行いますが、データの入力など以外はマウスを使用することが多くなっていますので、そのマウスで行う基本的な操作を紹介します。

操作名	内容
	クリック マウスの左ボタンを 1 回押す操作のことです。 主に画面に表示されているボタンの操作や選択するとき等に使用します。
	ダブルクリック マウスの左ボタンを 2 回押す操作のことです。 システムの起動やファイルを開くとき等に使用します。
	ドラッグ アンド ドロップ マウスの左ボタンを押したままマウスを移動させ、左ボタンを離す操作のことです。 システムの画面サイズや一覧表の列のサイズを変更するとき等に使用します。
	右クリック マウスの右ボタンを 1 回押す操作のことです。 操作する場所によって変わりますが、その場所に関連するメニューが開きます。
	ホイール スクロール マウスのホイールを回転させる操作のことです。 表示されている画面によってスクロールする（上下に動かす）ことができます。

※マウスの形にはいろいろありますが、基本的な形のもので説明しています。

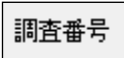
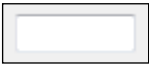

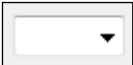



1-3 システムのデータ入力や選択について

システムの画面にはマウスで操作を行ったり、キーボードから入力を行ったりする項目が分かれており、その項目に入力、又は選択などを行うことで、データの登録を行っていきます。

下の表は、システム画面に使用している項目の一例です。

入力時の参考にご確認ください。

● 入力や選択などの操作可能な項目の種類



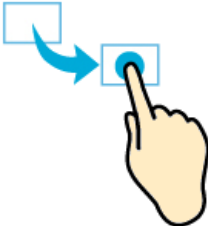

項目	内容
	ラベル（基本的に文字色は黒ですが、他の色もあります） 項目名や説明等が表示されている項目になり、編集はできません。
	テキストボックス（基本的に背景色は白ですが、他の色もあります） キーボードを使用して内容を登録します。選択している部分の内容に合わせて入力してください。
	コンボボックス（選択のみ） マウスでクリックすることにより、選択可能な内容一覧が表示されます。その一覧から、該当するものを選択することで、登録することができます。
	コンボボックス（入力と選択） マウスでクリックすることにより登録できる内容一覧が表示されるので、その一覧から、該当するものを選択することで、登録することができます。また、選択後、直接文字列を入力することも可能です。
	チェックボックスと項目名 マウスでクリックすることにより、チェックを付けたり外したりすることができます。
	ボタンとボタン名 マウスでクリックすることにより、そのボタンに対応した機能が使用できます。
	カレンダー選択 ▼をマウスでクリックすると、カレンダーから日付選択が可能です。 詳しい内容は、次ページを参照ください。

1-4 アプリで使用する操作用語

2

3 アプリの操作は、スマートフォン・タブレット端末の基本動作に合わせて設定しております。

4 本説明書では、下記の表に沿った操作名でご案内いたします。

操作名	内容
	タップ 画面を指で一回軽く叩く動作。PC 操作のクリックと同じ意味の操作。 アプリや項目などを選択するときによく使います。
	ダブルタップ 画面を指で「トントン」と2回連続で軽く叩く動作。 PC 操作のダブルクリックと同じ意味の操作。 アプリや項目などを選択するときによく使います。
	ドラッグ 画面に触れたまま、指を目的の場所まで移動する動作。 PC 操作のドラッグと同じ意味の操作。 アプリの移動や、拡大表示した写真をずらすときによく使います。
	スワイプ・フリック 画面上を掃くような動作。 ロック解除をする際に矢印を右へ移動させるときによく使います。

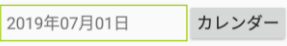
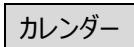





4-1 アプリのデータ入力や選択について

アプリの画面には指で操作を行ったり、キーボードから入力を行ったりする項目が分かれており、その項目に入力、又は選択などを行うことで、データの登録を行っていきます。

下の表は、アプリ画面に使用している項目の一例です。

入力時の参考にご確認ください。

● 入力や選択などの操作可能な項目の種類

項目	内容
 	日付 直接入力するか、   をタップして、カレンダーより選択します。
	マスタ選択 「調査区分」や「部屋名」などコンボボックス「▼」をタップすると項目一覧が表示されます。 選択肢にない項目は、上部の枠内に直接入力します。
	テキスト入力 項目名に合わせた入力を行います。
	ボタン表示 該当の項目をタップして、選択します。
	数値入力名 「W 値」「L 値」は、値の入力・状況の入力に対応しています。
	

■ 2. 調査を行う前に

2-1 本書で使用する用語について

本書で使用している用語について説明いたします。

項目	内容
PC	WindowsOS を搭載した PC 機器のことを指します。
システム	PC 版 P M_HIP システムのことを指します。
タブレット	AndroidOS を搭載したスマートフォン・タブレット端末のことを指します。
アプリ	Android 版 P M_HIP アプリのことを指します。

2-3 成果品を作成するまでの業務フロー

PC側での操作



- ・新規調査を作成・登録します。
- ・新規建物を作成・登録します。
- ・システムからアプリにデータを送信します。

タブレット側での操作



- ・アプリでシステムのデータを受信します。
- ・損傷箇所の調査・撮影を行います。
- ・アプリからシステムにデータを送信します。

PC側での操作



- ・システムからアプリのデータを受信します。
- ・損傷調査データの確認と修正を行います。
- ・出力調表を E x c e l 出力します。

プリンタでの操作



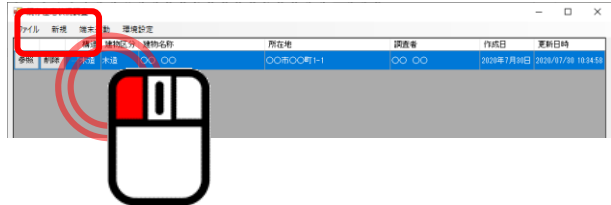
- ・ E x c e l データより各種帳票の出力を行います。

■ 3. 新規データ作成

ここでは、業務フローに即した操作手順をご案内いたします。

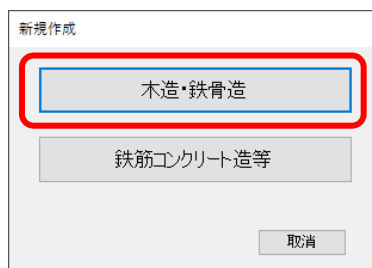
3-1 新規データ作成

- ① メニューバーより、新規をクリックします。

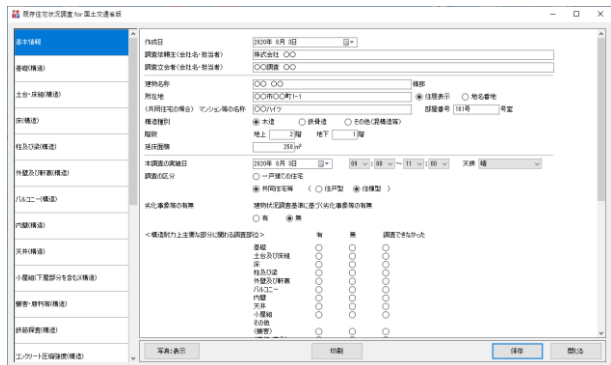


- ② 新規作成データの構造を選択します。

※ここでは、「木造・鉄骨造」でのデータ作成を例に説明いたします。



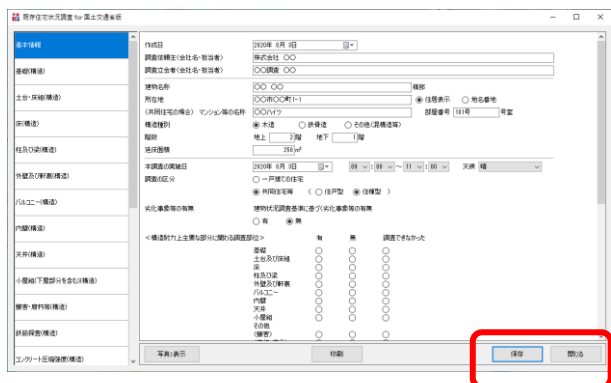
- ③ 選択した構造に合わせた調査一覧画面が表示されます。



- ④ 調査対象建物の情報を登録

事前に入力が可能な内容については、入力を行います。

入力が完了したら、**閉じる** ボタンで画面を終了します。



⑤ トップ画面に調査行が追加されます。

登録内容の再確認をする場合は、各行左の

参照 ボタンをクリックします。

行を削除したい場合は、各行左の **削除**

ボタンをクリックします。

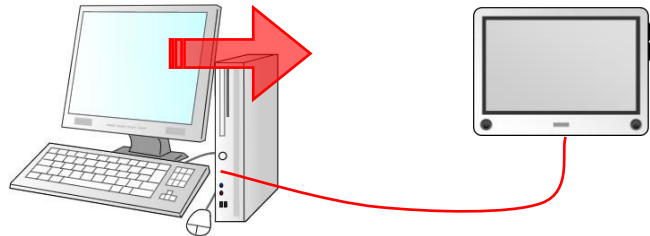


■ 4. 建物データ連動

4-1 システムからアプリにデータを送信

- ① PC側で作成した物件データ情報をスマートフォン・タブレット端末に転送します。

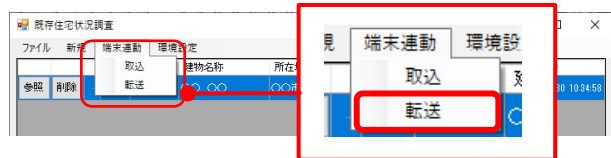
パソコンとタブレットをケーブルで繋がめます。



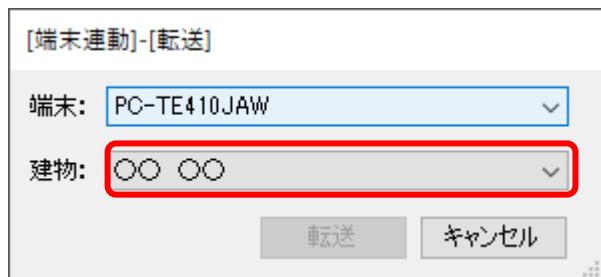
- ② 端末連動をクリックし、「転送」を選択します。

端末と建物データの選択を行うと、**転送**

ボタンが選択できるようになります。

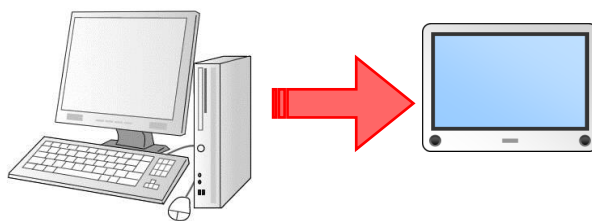


- ③ 転送を行う建物データを選択します。

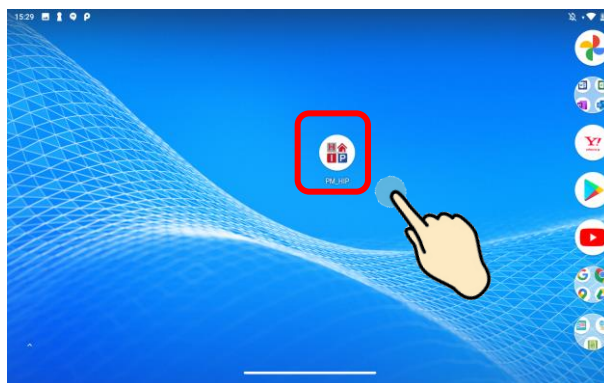


4-2 アプリでシステムデータの受信

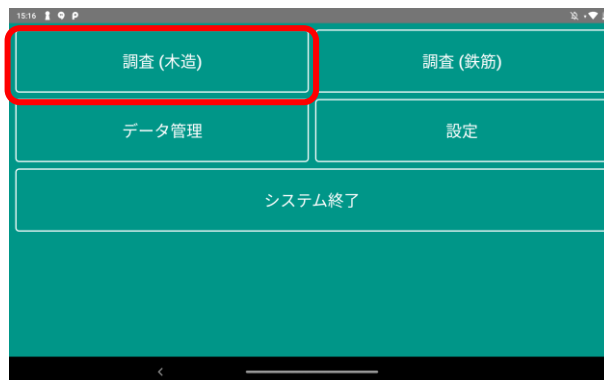
- ① タブレット側での操作になります。
ケーブルの接続は不要です。



- ② タブレット側より、アプリを起動します。



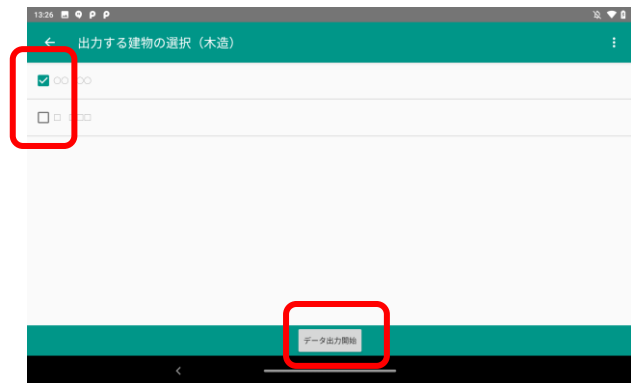
- ③ データ管理をタップします。



- ④ 「パソコンのデータ取得(木造)」・「(鉄筋)」より、**建物選択** ボタンをタップ



- ⑤ 該当建物のチェックボックスにチェックを入れ、**データ出力開始** をタップします。



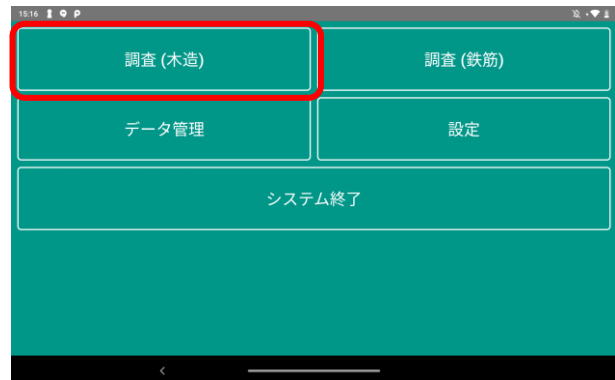
- ⑥ 完了したら、終了メッセージが表示されます。



■ 5. 現地調査

5-1 建物データの選択

- ① アプリトップ画面より取り込んだデータの構造を選択します。



- ② 調査を行う建物を選択します。

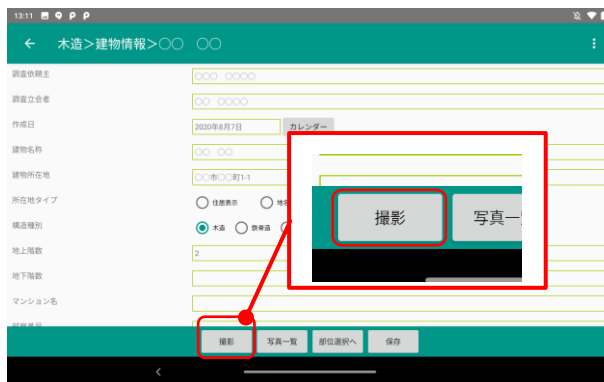


- ③ 建物情報の画面内で変更があれば、編集します。

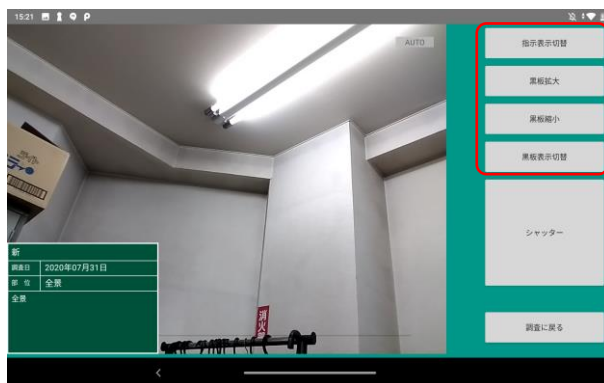


5-2 建物全景の撮影

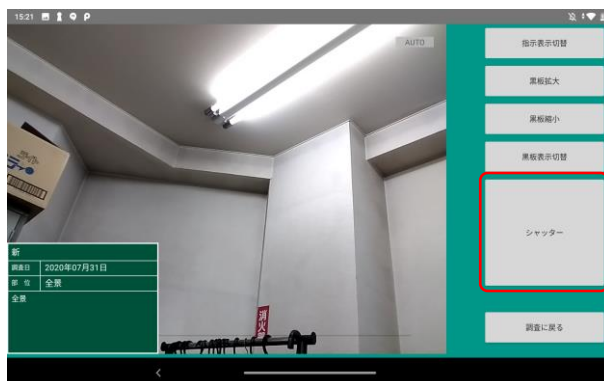
- ① 建物情報画面より **撮影** ボタンをタップします。



- ② 撮影画面に切り替わるので、画面の設定を行います。



- ③ 撮影位置を調整し、**シャッター** をタップします。

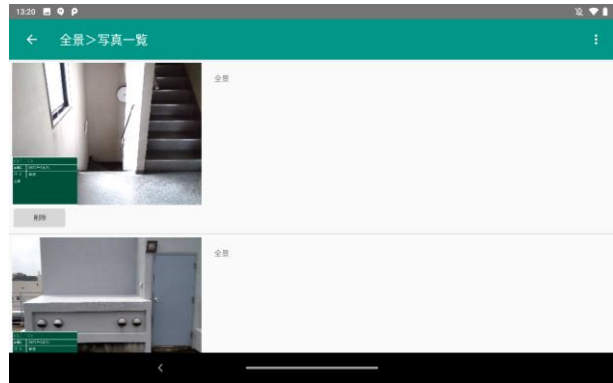


5-3 全景写真の確認

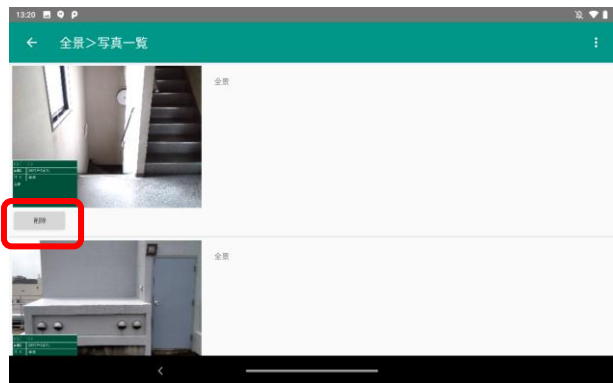
- ① 建物情報画面より、**写真一覧** をタップします。



- ② 撮影写真一覧が表示されます。



- ③ 必要に応じて、**削除** 等の編集を行います



5-3 損傷状況の入力

- ① 建物情報より、**部位選択へ** をタップします。



- ② 調査項目選択一覧より、該当の調査項目をタップします。



- ③ 調査部位の選択一覧が表示されるので、調査結果を選択します。



- ④ 各項目の調査が完了したら、戻るボタンで部位選択画面に戻ります。



- ⑤ 調査が完了した部位は、ステータスの表示が切り替わり、調査項目の点に色が付きます

調査項目の点の色について

- …劣化あり
- …劣化なし



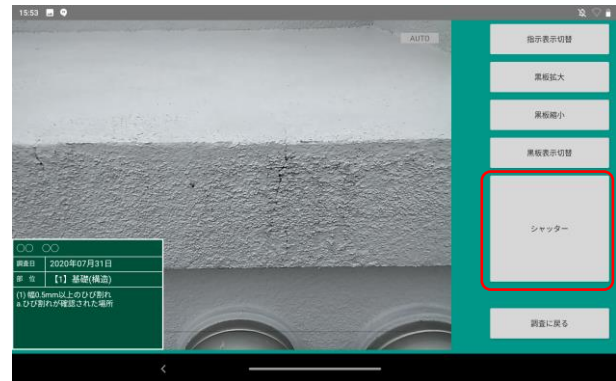
- ⑥ 上記、②~⑤までを調査が発生した箇所ぶん繰り返します。

5-3 現場の撮影

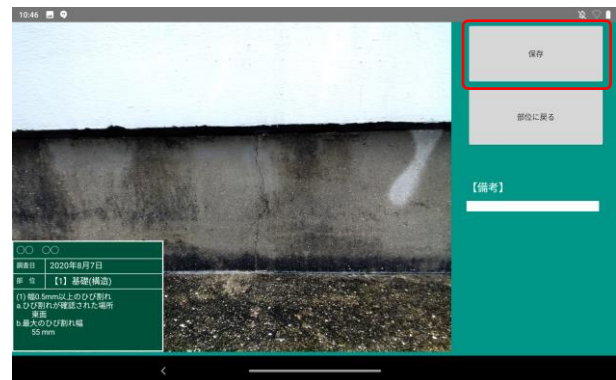
- ① 損傷状況入力画面内に **撮影** ボタンが表示されている項目については、写真を取り込むことができます。



- ② 撮影画面に切り替わるので、画面の設定を行います。撮影位置を調整し、**シャッター** をタップします。



- ③ 写真の表示に問題なければ、**保存** ボタンをタップします。



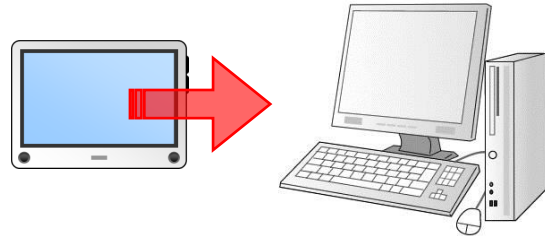
- ④ 部位画面の **写真一覧** から、撮影写真一覧の確認ができます。



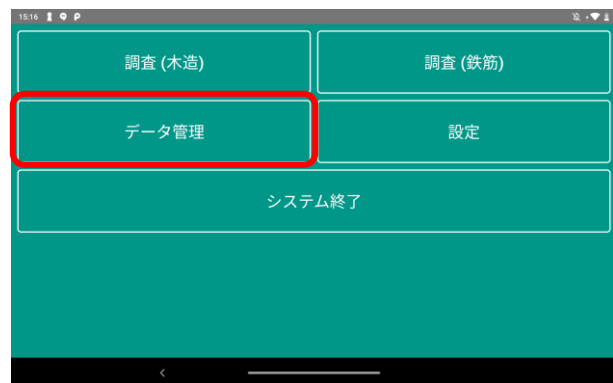
■ 6. 調査データ連動

6-1 アプリでシステム送信用のデータ作成

- ① システムに送信するデータの作成を行います。
ケーブルの接続は不要です。



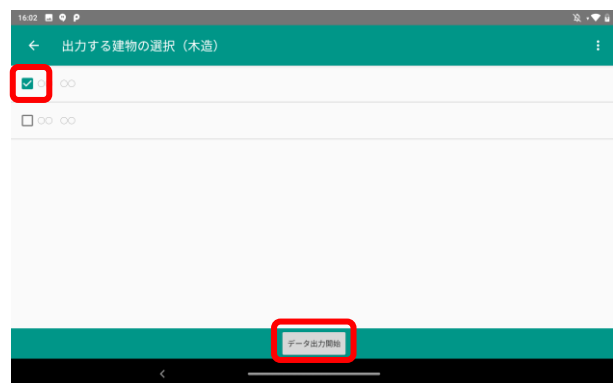
- ② データ管理をタップします。



- ③ 「パソコンに出力するデータ作成(木造)」
・「(鉄筋)」より、**建物選択** ボタンを
タップします。



- ④ 該当建物のチェックボックスにチェックを
入れ、**データ出力開始** をタップします。



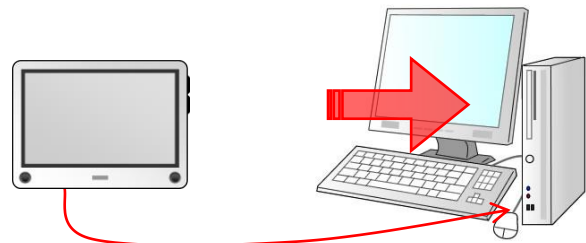
- ⑤ 完了したら終了メッセージが表示されます。



6-2システムでアプリデータの受信

- ① アプリからのデータ受信を行います。

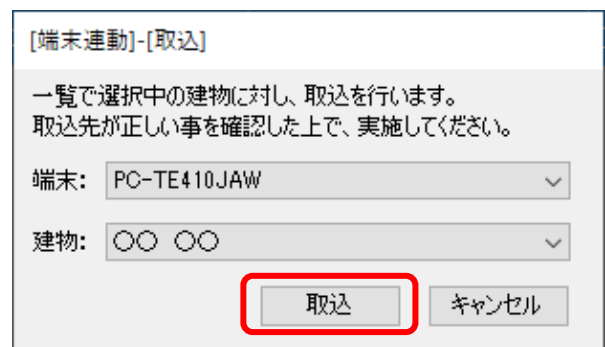
データ送信する前に、パソコンとタブレットをケーブルで接続しておきます。



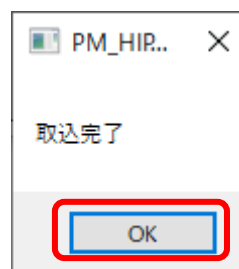
- ② 端末連動をクリックし、「取込」を選択します。



- ③ 取込を実行する建物を選択し、**取込** ボタンをクリックします。



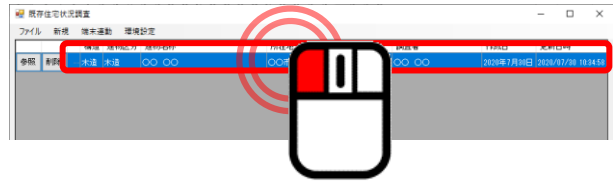
- ④ 完了したら、終了メッセージが表示されます。



■ 7. システムでの編集

7-1 取込データの確認・編集

- ① システムのトップ画面より、該当の調査データ行をダブルクリックで選択する

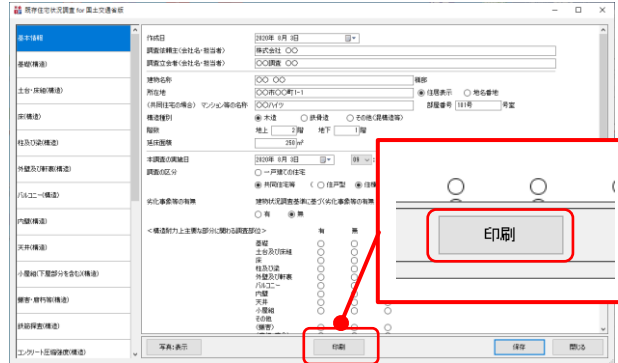


- ② 各項目の編集を行い、保存ボタンをクリックします。



■ 8. 出力

本システムの出力は、各データの調査画面より実行します。



8-1 調査建物のプレビュー表示

- ① プレビュー表示を行いたい帳票のチェックボックスにチェックを入れます。
- ② **プレビュー** ボタンをクリックします。

8-2 Excel データ出力

- ① Excel 出力を行いたい帳票のチェックボックスにチェックを入れます。
- ② **Excel 出力** ボタンをクリックします。



■ 9. サポート

P M_HIP のご使用にあたって、ご不明な点や問題点がございましたら、株式会社プロデュースメディアのサポートセンターまでご連絡ください。

株式会社プロデュースメディアへ直接お電話にてご連絡される場合には、**050-3734-5799（月～金 9：30～17：00）**までご連絡ください。

また、電子メールによるサポートも行っております。

sc@producemedia.co.jp までご連絡ください。

お電話の際には、以下のお客様情報をお手元にご準備の上、お電話いただきますようお願い申し上げます。

- ・ 問題が起きたときの状況
- ・ 問題の内容

株式会社プロデュースメディア サポートセンター

〒854-0004

長崎県諫早市金谷町 10-5

TEL : 0957-22-8123（代表）

FAX : 0957-22-8124

E-mail : psinfo@producemedia.co.jp

URL : <http://www.producemedia.co.jp/>